

興祖微妙大師
六百五十年遠諱記念

特別展

妙心寺

禪
の
継承

PRESS RELEASE

2026年

2月7日〔土〕—

4月5日〔日〕

大阪市立美術館

Osaka City Museum of Fine Arts

Commemorating
the 650th Memorial Observance for
Mimyō Daishi, Myōshin-ji's Second Abbot

Special Exhibition

Myōshin-ji

The Legacy of

Artistic and Cultural
Treasures
from the Myōshin-ji
Collection

虎：重要文化財 狩野山楽 龍虎図屏風（部分）

桃山時代（17世紀） 妙心寺

金雲：重要文化財 海北友松 琴棋書画図屏風（部分）

桃山時代（17世紀） 妙心寺 画像提供：京都国立博物館

開催趣旨

京都の西郊、風光明媚な花園の地に広大な敷地を誇る臨済宗の大本山、妙心寺^{みょうしん じ}。現在、約3,400の末寺を有し、妙心寺派は臨済宗では最大規模の宗派です。大きな山門や仏殿^{はつどう}、法堂を中心にして約40もの塔頭^{たっちゅう}が並ぶ境内の光景は圧巻です。かつてこの地は、花園法皇(1297-1348)の離宮御所があり、それを建武4年(1337)に関山慧玄^{かんざん えげん}(無相大師、1277-1360)を開山として禅寺に改めたのです。応永6年(1399)には足利義満の不興を買い、寺領を没収されるなどの不遇の時期もありましたが、永享4年(1432)には中興し、さらには戦国武将たちの寄進を受けて多くの塔頭が造営されました。そのため、この時期に描かれた狩野派や長谷川派、海北派などの桃山絵画の宝庫としても著名です。

さて、妙心寺開山である関山の唯一の弟子となるのが授翁宗弼^{じゅうおうそう ひつ み みょう}(微妙大師、1296-1380)です。妙心寺の二世として、初期の妙心寺を整備し、基礎を作った高僧です。本展は、その授翁の650年遠諱^{おん き}を記念して企画いたしました。妙心寺の歴史や、禅宗美術、桃山絵画などの日本美術の白眉ともいべき妙心寺の至宝を通じて、関山から授翁を経て、現代の我々へ引き継がれた妙心寺の禅の系譜をみていきます。

また、地元大阪の妙心寺派寺院で行われている、最新の寺宝調査の成果もあわせて紹介する予定です。絶え間なく継承されてきた妙心寺の禅の神髄を、本展を通じて体感いただけましたら幸いです。

本展のみどころ

みどころ

1

開山忌^{かい さん き}の大方丈^{おお ほう じょう}での設え^{しつら}を再現

みどころ

2

狩野山楽・山雪による天球院^{ふすま}襖大公開

みどころ

3

大阪の妙心寺派

開山忌の大方丈での設えを再現

開山忌は妙心寺開山・関山慧玄の忌日の法要で、1年のなかでもっとも重要な法要のひとつです。近年、江戸時代における開山忌では大方丈で特別な設えによる荘厳がなされていたことがわかりました。狩野山楽筆「龍虎図屏風」や海北友松筆「花卉図屏風」といった「妙心寺屏風」の異名を持つ大型の屏風群が立て廻され、金碧の豪華絢爛な設えが現れます。さらに、妙心寺の法系を伝える高僧の頂相や墨蹟のほか、「十六羅漢図」が堂内に掛けられます。このような寺宝中の寺宝で荘厳された開山忌の風景を紹介します。



重要文化財 狩野山楽 「龍虎図屏風」 桃山時代(17世紀) 妙心寺



迎え撃つ
虎

天空から舞い降りる
龍

金地に浮かぶ 牡丹、



重要文化財 かいほう ゆうしょう 海北友松 か き ずびょうぶ 「花卉図屏風」 桃山～江戸時代(17世紀) 妙心寺



梅、椿

妙心寺屏風とは

妙心寺に伝わる桃山時代の屏風は、標準よりも25センチほど高さのある大画面に描かれています。これを大方丈の長押なげしの下に、折り曲げることなくフラットに立てかけるとピッタリとした高さになります。特大サイズに描かれた大迫力の屏風群です。

右隻に唐時代の隠者・
寒山と拾得、
左隻に酔を舐めて
顔をしかめる
三教（儒教、道教、仏教）一致を
象徴する
三人の隠者。

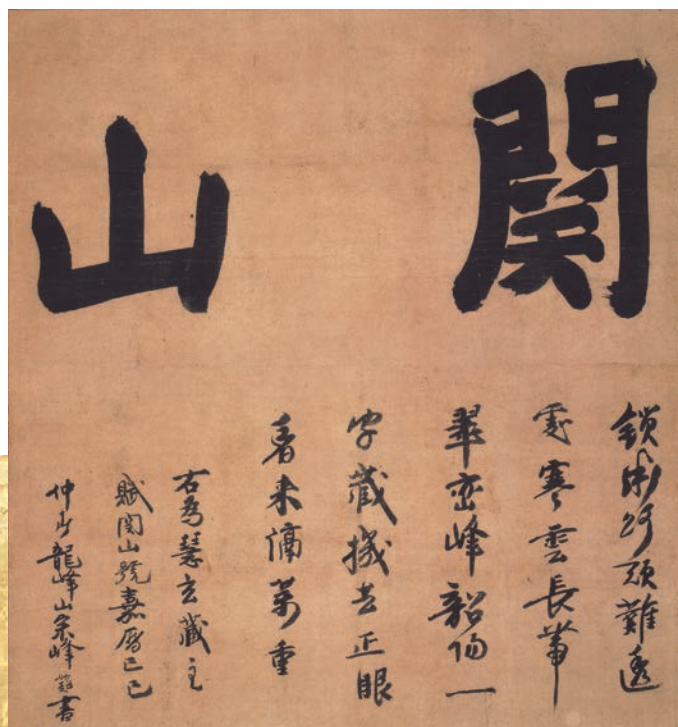


**金地と墨の
対比が秀逸。**

重要文化財
海北友松 「寒山拾得・三酸図屏風」
桃山時代（17世紀） 妙心寺 （半期展示）
画像提供：京都国立博物館

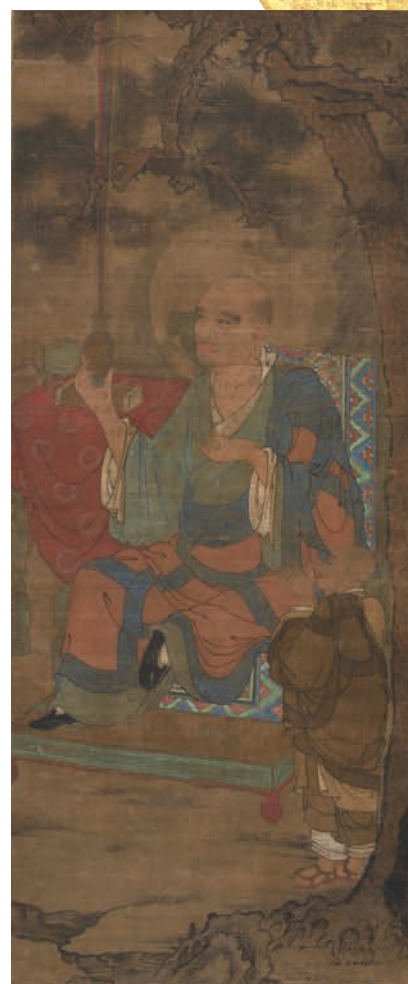


開山である関山慧玄に
師から授けられた道号



国宝 宗峰妙超墨蹟 「関山」道号 鎌倉時代・嘉暦4年（1329）
妙心寺 （半期展示）

お釈迦様亡き後、神通力をもって仏教の正法を護った
16人の羅漢



重要文化財 「十六羅漢図」のうち 第二 迦諾迦伐蹉尊者
鎌倉時代（14世紀） 妙心寺 （半期展示） 画像提供：株式会社修美

狩野山楽・山雪による天球院襖大公開ふすま

天球院は、寛永8年(1631)に池田輝政の妹、天球院殿によって創建された妙心寺の塔頭です。狩野山楽・山雪父子によって描かれた方丈の襖絵は、金地濃彩の鮮やかな彩色が現在でも色鮮やかに残り、その豪華絢爛なさまは観る者の心をつかんで離しません。まさしく桃山絵画を引き継いだ、江戸初期絵画の代表的な名作です。普段は非公開で、なかなか目にするのできない襖絵を塔頭内と同じ形で再現展示することで、金碧画の最高傑作を十二分に味わっていただきたいと思います。

水平、垂直、斜め45°

—見事な幾何学的構成



重要文化財 狩野山楽・山雪 「梅・柳に遊禽図襖」 室町時代(16世紀) 京都・天球院 画像提供:天球院(綴プロジェクト)





シンプルかつ大胆な構図



重要文化財 狩野山楽・山雪 「竹に虎図襖」 室町時代(16世紀) 京都・天球院 画像提供:天球院(綴プロジェクト)

やまと絵的な優美さが際立つ



重要文化財 狩野山楽・山雪 「籬に草花図襖」 室町時代(16世紀) 京都・天球院 画像提供:天球院(綴プロジェクト)



大阪の妙心寺派

大阪府内には現在、約50カ寺の妙心寺派寺院があり、本展開催にあたり、うち11カ寺で文化財調査を実施しました。興味深いのは、平安～鎌倉時代の仏像などといった、創建時よりも古い像を安置している寺院が複数あったことです。おそらく妙心寺派として教線を広げていく際に、それ以前の由緒のある寺院を引き継いでいったと考えられます。また、白隠慧鶴^{はくいん え かく}やその弟子の東嶺円慈^{とうれい えん じ}(1721-92)といった江戸時代の妙心寺派の高僧の書画も多数確認され、妙心寺の禅の教えが広まった様子を示しています。地元大阪の妙心寺派の寺院に伝わる普段非公開の寺宝を展示し、あまり知られていない大阪の豊富な文化財について紹介します。

穏やかな表情や、
凹凸を減らして薄く衣文をあらわすなど、
平安時代後期の作風が
顕著にみられる
一木造りの像。



聖観音立像 平安時代(11～12世紀) 大阪府・梅松院

妙心寺史

妙心寺は、建武2年(1335)に法皇となった花園上皇が、花園御所を禅寺に改めることを発願したことによってできた禅寺です。法皇の師、宗峰妙超(1282-1337 大徳寺開山)の推挙により、関山慧玄(1277-1360)が開山となり、建武4年(1337)に創建となりました。京都の禅寺は宋の五山制度を模して五山十刹が隆盛を極めていましたが、それと一線を画して本来の禅寺らしく厳しい修行を重ねた「林下」の代表寺院でもあります。

そののち、第二世の微妙大師(授翁宗弼、1296-1380)ら「六祖」をはじめ、室町時代には数々の高僧が輩出し、さらに戦国時代には多くの大名の帰依を受けたため、すさまじい数の塔頭が建立されました。豊臣秀吉の子、棄丸ゆかりの宝物や、屏風や障壁画といった桃山美術の巨匠の宝庫たるゆえんです。

また、江戸時代には、後の禅宗はすべて彼の系譜となる、白隠慧鶴(1685-1768)を輩出し、さらに偃厓義梵(1750-1837)などといった、親しみのもてる書画で禅を広めた高僧たちも現れました。

妙心寺の開基・ 花園法皇の肖像画

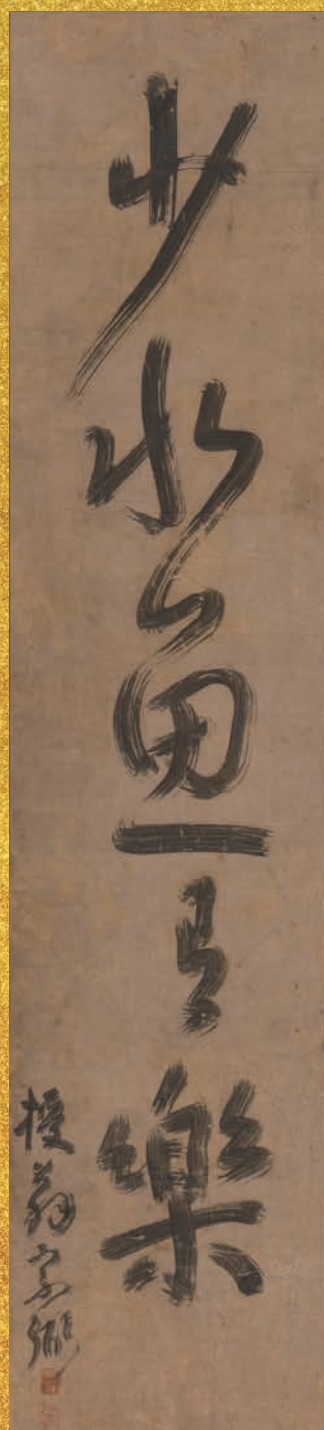
好学で知られ、出家後自らの離宮を妙心寺とした。



重要文化財 「花園法皇像」 後花園上皇賛
南北朝時代(14世紀) 妙心寺 (半期展示)

魚は私たち自身、水は寿命

無常の人生にも楽しみがあるという微妙大師の教え。



授翁宗弼墨蹟「少水魚有楽」 南北朝時代(14世紀) 京都・天授院 画像提供: 妙心寺遠諱事務局(撮影: 光影堂)

微妙大師とは

微妙大師は、関山慧玄の唯一の後継者として妙心寺の草創期を支え、妙心寺の基盤を築きました。「興祖」という尊称はその功績を称えてつけられたものです。もとは後醍醐天皇の忠臣である萬里小路藤房とされ、出家したのは39歳のこと。約20年にわたり、各地を行脚して修行を重ねました。後に関山慧玄に参じ、その厳しい指導により61歳で悟りを開き、65歳で第二代の妙心寺住職に就任します。76歳、無因宗因を正式の後継者に育て上げ、85歳で亡くなりました。



「千手観音坐像」 南北朝時代(14世紀) 滋賀県・妙感寺
画像提供: 便利堂

秀吉の 溺愛を受けた 愛児・棄丸の遺品

わずか数え3歳で亡くなり、
葬儀は妙心寺で執り行われた。

重要文化財
豊臣棄丸所用
「小型武器のうち
蓬萊文重具足」
桃山時代(16世紀)
妙心寺 (展示替えあり)
画像提供: 京都国立博物館



微妙大師ゆかりの 妙感寺の本尊

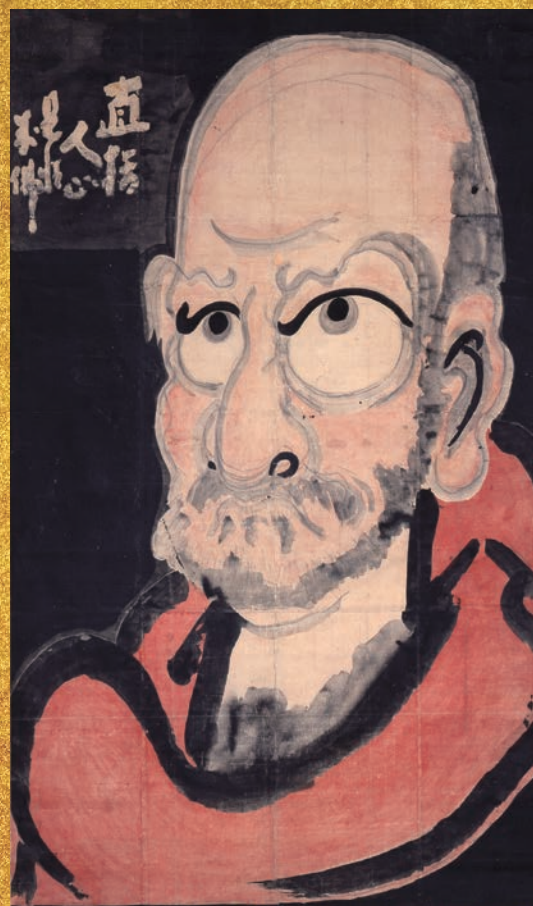
微妙大師が結んだ草庵を起源とする妙感寺。
創建当時より伝わる本尊の千手観音坐像をはじめ、
大師ゆかりの宝物を多く伝える。

白 隠 慧 鶴

白隠慧鶴(1685-1768)は日本臨済宗中興の祖で、「500年に一人の英傑」と称えられた禅僧です。いったん廃れた宗旨を復興したのではなく、新しい時代に即した教育方法を体系化した改革者でした。84年の生涯において民衆教化の手段として1万点を超える大量の禅画や墨蹟を遺しました。「不立文字(言葉に頼るな)」を掲げる禅宗において、あらゆるメディアを活用し、仏の教えを伝えるために描かれた書画を展示します。

朱と黒の強烈な コントラストが際立つ。

年記はないが、おそらく白隠最晩年83歳頃の作。



白隠慧鶴「達磨像」江戸時代(18世紀) 大分県・萬壽寺 (半期展示)
画像提供: 花園大学国際禅学研究所(撮影: 第一スタジオ 堀出恒夫)

妙心寺 珠玉の寺宝

妙心寺は広大な敷地に本坊を中心に約40カ寺もの塔頭寺院が並ぶ、我が国屈指の大寺院です。その山内には、多分野にわたる膨大な質量を誇る寺宝の数々が伝わっています。特に著名なのが、室町時代の相阿弥をはじめとして、狩野派の繁栄の基礎を築いた狩野元信や、桃山絵画を代表する画家、長谷川等伯、海北友松、狩野山楽・山雪などといった、日本絵画史上に名を遺す巨匠の絵が数多く遺されていることです。さらに、京都の南蛮寺で用いられていた銅鐘は、同寺をしのぶ唯一の文化財として貴重です。

本章では、絵画と工芸を中心に、妙心寺ならではの珠玉の寺宝を紹介します。



重要文化財 狩野元信 しょうしゅうはつげいす 「瀟湘八景図」 室町時代(16世紀) 京都・東海庵 (半期展示) 画像提供: 京都国立博物館

8つの景観を描いた4幅対

中国の景勝地、湖南省洞庭湖付近の



重要文化財 「銅鐘 IHS紋入」
桃山時代・天正5年(1577) 京都・春光院
画像提供: 京都国立博物館

イエズス会が建立した
京都の南蛮寺で
用いられていた銅鐘

1577年、ポルトガルで製造された。

重要文化財 「羅漢像」 鎌倉時代(13世紀)
京都・大心院 (半期展示) 画像提供: 大阪市立美術館



優美な線描が特徴の羅漢像

仏牙舍利を掲げた

妙心寺と大阪市立美術館

大阪市立美術館は昭和11年(1936)5月1日に開館し、「古美術常設陳列館」としての性格を目指し、近隣の社寺に出陳や寄託を依頼しています。妙心寺ならびに塔頭からも、開幕した年の8月には、すでにかなりの数の宝物を寄託いただき、現在に至っています。開館初年以來、約90年の深いお付き合いなのです。長年にわたり寄託されている作品の数々もご紹介します。



興祖微妙大師六百五十年遠諱記念特別展

妙心寺 禅の継承

Commemorating the 650th Memorial Observance for Mimyō Daishi,
Myōshin-ji's Second Abbot

Special Exhibition Myōshin-ji: The Legacy of Zen
Artistic and Cultural Treasures from the Myōshin-ji Collection

会期

2026年2月7日(土)～4月5日(日)

会場

大阪市立美術館 〒543-0063大阪府大阪市天王寺区茶白山町1-82(天王寺公園内)

開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日(ただし、2月23日は開館)、2月24日(火)

展覧会公式サイト

<https://art.nikkei.com/myoshin-ji/>

主催

大阪市立美術館、臨済宗妙心寺派、日本経済新聞社、テレビ大阪

後援

公益財団法人大阪観光局

特別協力

京都国立博物館

企画協力

浅野研究所

入場料

一般2000円(1800円)、高大生1300円(1100円)、小中生500円(300円)

※()内は、前売りおよび20名以上の団体料金

※前売券の販売期間は12月10日(水)～2月6日(金)23:59まで。

販売場所は主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど

※未就学児、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料(要証明)

(障がい者手帳等は日本の都道府県知事から交付を受けたものに限りです。)

※本展の観覧券で、企画展示(常設展)もご覧いただけます。

最新情報は展覧会公式サイトなどでご確認ください。 本展は他会場への巡回はありません。

本展関連のイベント

興祖微妙大師六百五十年遠諱記念トークイベント

2026年2月23日(月・祝)13:30～15:30「日経ホール」(東京都千代田区大手町1-3-7)

報道関係お問い合わせ先

「妙心寺 禅の継承」広報事務局(TMオフィス内) 担当:馬場・永井・西坂

MOBILE:090-6065-0063(馬場) 090-5667-3041(永井)

TEL:050-1807-2919 FAX:050-1722-9032 EMAIL:myoshinji@tm-office.co.jp

妙心寺境内图

